

横浜日中友好協会

夏季中国語講座合宿

各地協会の活動

本協会の中国語講座受講生を対象とした「合宿」を、三浦海岸のマホロバ・マインズで8月29日から1泊2日で行った。初日午後は複数クラスでのレッスン。夜は懇親会。二日は早朝、浜辺で太極拳。朝食後は中国語スピーチの発表会とレクレーション。参加者は受講生60余人と老師12人。受講生、老師がクラスを超えて親しみ、中国語を身近に感じる素晴らしい体験になった。



夏季中国語講座生 朝の太極拳

第37回相模湖・ダム建設殉職者合同追悼会参加

今年も、県立相模湖交流センターで7月26日に行われ、本協会より飯田会長他3名が参加した。相模湖ダムは1940(昭和15)年に建設開始、1947(同22)年に完成。多目的ダムとして大きな役割を果たしている。建設には強制連行された300人近くの中国人捕虜、同様に連行された朝鮮の人達も従事。作業は危険で劣悪な労働条件下で行われ、殉職者は83人に達した。追悼の辞で、「戦後70年祖国に戻れず死んでいった人達のことを思うと今でも心が痛む」と話されている横ダムの恩恵を受けている横



地元内郷中学校生の追悼演奏

浜市民としても、決して忘れてはいけない事実である。追悼会には、相模原市、神奈川県、中国大使館、韓国領事館、朝鮮総連他350名余が参加した。

湘南日中友好協会

「聶耳を知り、偲ぶ会」開催



聶耳記念碑 参拝

東京都日中友好協会が主催し湘南日中友好協会(柳田秀憲会長)が後援した「聶耳(ニエ・アル)を知り、偲ぶ会」が7月11日に開催された。1912(明治45)年に雲南省昆明市で誕生した聶耳

は、後に中国国歌となる「義勇軍行進曲」を作曲した作曲家。1935(昭和10)年、訪日中に藤沢・鵠沼海岸で遊泳中に水死した。1954(昭和29)年には没地の藤沢市に聶耳記念碑が建立され、1981(昭和56)年には藤沢市と昆明市の間で友好都市提携が結ばれた。本会は聶耳没後80周年記念行事の一環として開催された。参加人数は総勢150人。聶耳記念碑を参拝した後は藤沢市民会館にて岡崎雄児氏による聶耳講演会、その後懇親会が行われた。中国大使館からも郭燕公使や汪婉中国大使夫人、友好交流部参事官らとその家族が参加し終始賑やかな会となった。

来賓スピーチの中でも、岡崎氏の新書の一説を引用して「聶耳の生涯を知ることとは、日本の近代史を捉え直すことでもあった。そのような歴史の再検討の中にこそ、近隣諸国との係わり方を考えるうえでの原点があると確信している」と聶耳を知ることの意義が述べられた。

逗葉日中友好協会

中国古琴と「変面」を楽しむ

6月20日、逗葉日中友好協会(渡邊貞雄会長)は逗葉市商工会議所にて定例総会及び懇親会を開催した。懇親会では謝雪梅さんによる古琴演奏と孔得偉さんによる古典四川劇「変面」が上演され、参加者は琴の音色や、瞬時にお面が変わる様子に釘付けになっていた。



中国古琴



中国古典四川劇 『変面』